

RF 信号監視装置 RFM101 型

取扱説明書

スターデジタル通信株式会社

2025.05

1. 概要

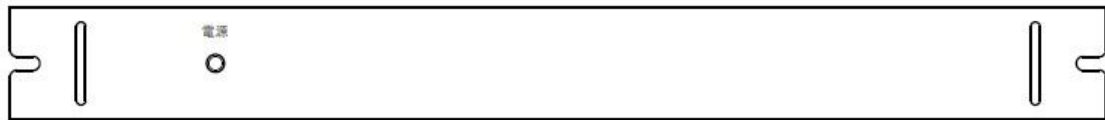
当装置は、70MHz～3200MHz の RF 信号の監視装置として製作されたもので、単独の RF 信号を上位のコンピュータの指示により、自在に測定・記録するものです。

24 時間 365 日の連続測定監視にも耐えられる安定性を有しています。

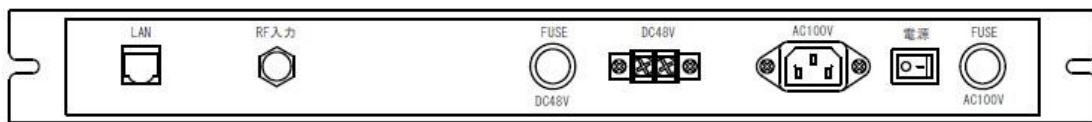
測定ユニットは、弊社最新型レベル計 LM20 型をベースとした測定部を採用しております。

2. 外観図

< 前面 >



< 裏面 >



3. 機器の構成

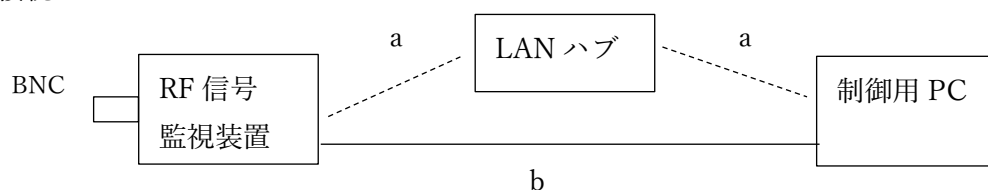
- 1) ケース JIS 型 19 インチユニットケース : パネル:480 ケース:430x x250 x 49H
- 2) 測定ユニット LM20 型 RF 信号測定ユニット
- 3) LAN 接続ユニット
- 4) 電源 AC100V 及び DC48V

両方の電源を同時に入力した場合は、DC48V を優先して選択利用します。

- 5) ヒューズ AC100V : 0.3A DC48V : 0.5A
- 6) RF 入力端子 BNC コネクター (入力インピーダンス 50Ω)

F コネクターを使用する場合は、BNC-F 変換アダプターを使用して下さい。

4. 接続



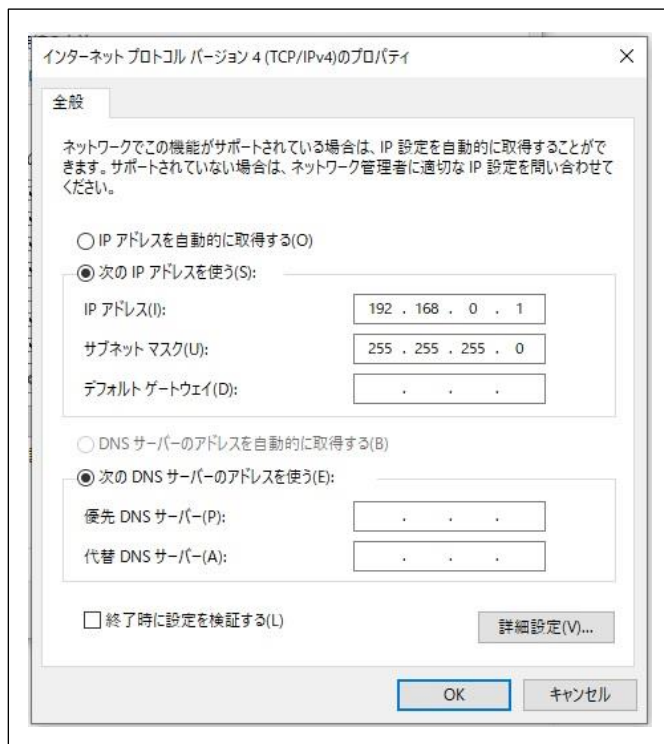
* a : LAN ハブを使用する場合はストレートケーブル、 b : 直接接続する場合はクロスケーブル

5. 機能

- 1) 測定周波数：70MHz～3200MHz
- 2) 測定時間：1 CH当り最大 10 秒
- 3) RF 信号内容
 - ① CATV 信号
 - ② 衛星信号
 - ③ NTT wide channel
- 4) LAN 制御
制御 PC からの LAN 通信によるリモート制御

6. PC 画面

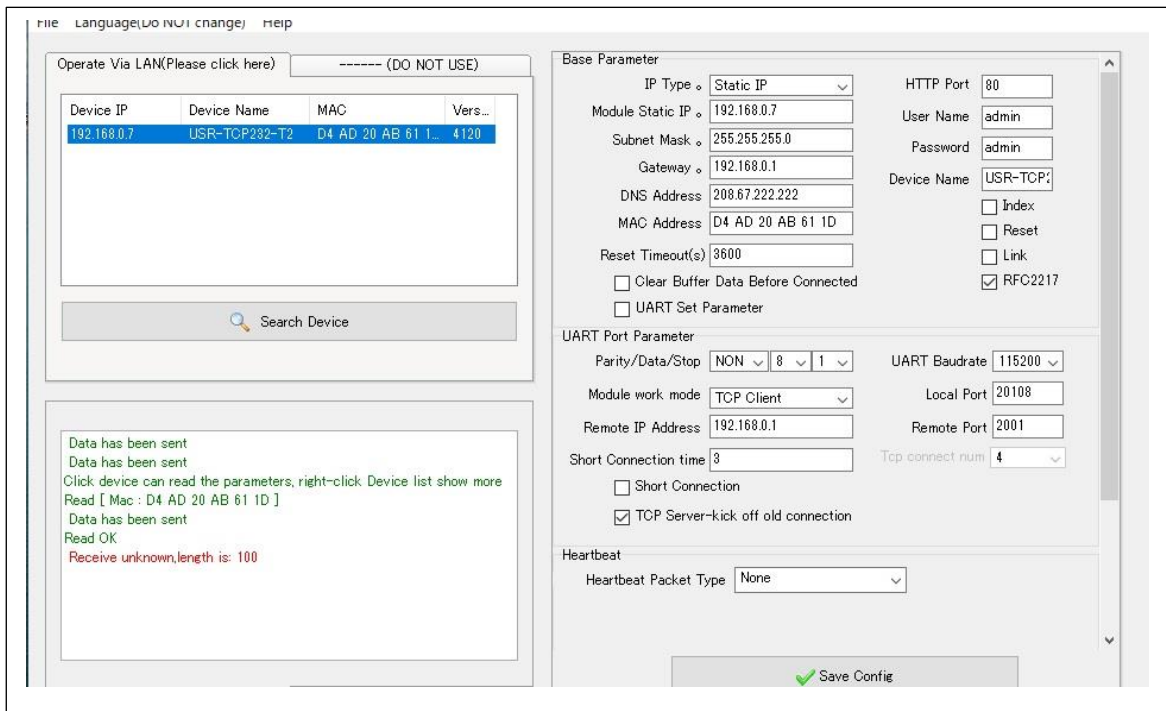
- 1) イーサネット IP アドレス設定



コントロールパネルなどで、上図の如く、イーサネットを、
IP アドレス : 192 168 0 1
サブネットマスク : 255 255 255 0
に設定して下さい。

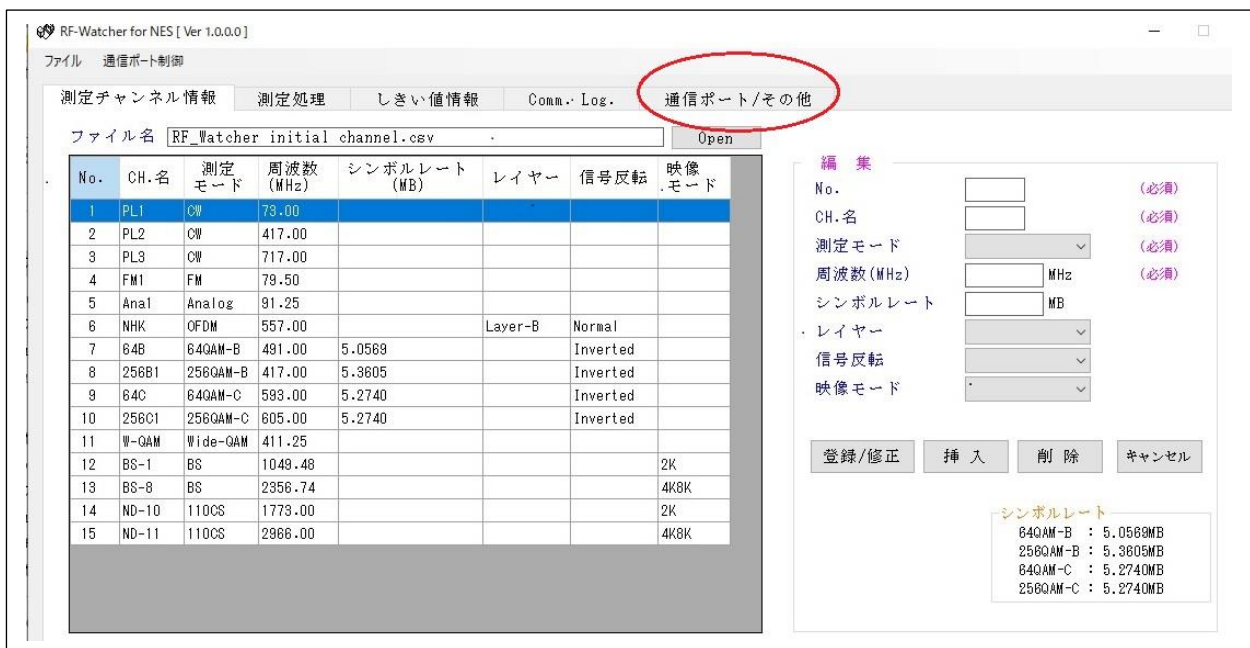
- 2) LAN TH-UA7

ETH-UA7 設定ソフトウェアで[search device]をクリックして、Base パラメータと
UART Port Parameter の数値を確認してください。



3) PC アプリ画面より、通信ポート／その他のタブより、「接続クライアント」を確認し、選択して、バージョン情報読取りを行って下さい。読み取れば接続 OK です。

PC アプリを立ち上げて、通信ポート／その他を開きます。



①②の順に選択・クリックして、接続クライアントが表示されるのを確認します。

④をクリックして、バージョンを読み込めれば、通信が接続されています。

(接続クライアントを常に選択して下さい：青色に選択)



測定処理：測定処理のタグを開きます。



チャンネルプランのチャンネル名をクリックして、プラン情報を下段の設定に移動させます。

「チャンネル情報送信」で測定ユニットに情報を送ります。

F 信号が接続されていれば、測定を開始します。

「測定情報送信要求」をクリックすると、測定結果が、右側の画面に表示されます。

情報送信から測定情報要求まで、測定時間を置いて下さい。 最大10秒程度測定に時間が掛かります。

7. ソフトウェア

- 1) LAN 設定プログラム ethua7_APP
- 2) PC アプリケーション NES RF-Watcher test APP

8. アフターサービス

納品日から1か年無償保証となります。

以上